

福井県文書館

住所:918-8113 福井市下馬町 51-11 開設年:2003 年 設置母体:都道府県立

所蔵資料:所蔵品 300,000 点 職員総数(非常勤を含む):17 人

目的 〔達成状況〕	①検索性の向上〔複雑な文書館資料を容易に検索できるので好評であるが、開発後 6 年が経過し、課題も多い〕 ②活動成果の普及〔館の知名度が徐々に上がり、来館者が漸増している〕 ③資料の保存・管理〔公文書・古文書等収蔵資料全体を管理・保存・利用する目的は達成。デジタルデータ、写真資料等の管理については課題がある〕
所蔵資料の 収録率	60%
運営予算	◆年間予算に占める割合:1% ◆外部委託費が占める割合:1% ◎課題・工夫点等:運営予算については、外部委託している保守経費なので削減の余地はほとんどない。
人員	◆運営担当者:知識の少ない職員 ◆職員のスキル等:デジタルアーカイブ構築の経験はないが、独学で学習して全体を管理する立場としてかかわっている。更新は複数の職員が分担し、システム保守(年 2 回、トラブル時に電話・メールでアドバイス)を外部業者に委託している ◆人材育成の取組:その他:主に OJT ◎課題・工夫点等:特殊な技術・機器・ソフトは使用していないため、OJT で対応可能。
権利処理	◆処理方法:自らの部署で処理、権利者との信頼関係 ◆処理状況〔年間処理件数/費用〕:把握している〔20 件/—〕
他機関との 連携	◆連携状況:連携していない
その他 F.A.	現システムでは、リンクしているデジタル画像はごくわずかであり、本格的なデジタルアーカイブとはいえない。現在は、県広報写真、古文書寄贈・寄託資料、マイクロフィルムを中心にデジタル画像化を進めている。

【福井県文書館・提供アーカイブ】

■福井県文書館(ウェブサイト) (1 件目/1 件中)

公開年:2003 年 URL:<http://www.archives.pref.fukui.jp/> 更新頻度:月 1 回程度

概要	公文書・古文書(一部デジタル画像とリンク)・行政刊行物等の検索。収蔵資料展示・企画展示の概要紹介。福井県史通史編・統計編・図説・年表等をデジタル化して掲載。資料叢書・研究紀要・文書館だより・年報等刊行物の PDF 等掲載。古文書資料の画像・全文テキスト掲載 ◆コンテンツ総容量:5GB ◆コンテンツ総件数:4,200 件 ※html・pdf 1 ファイルを 1 件と数える ◆コンテンツ増加量:100 件/年
利用者	◆ウェブアクセス数:3,000 件/月 ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料
構築	◆システム開発方法:独自に開発 ◆構築予算:2001 万円以上 ◆予算の出所:自前の予算 ◆予算獲得のきっかけ:開館 ◆構築業務の担い手〔委託内容〕:一部外部委託〔システム構築は外部委託、コンテンツは内部〕 ◆コンテンツ作成費〔理由〕:0 円〔既存のデータや機器の活用〕
運営	◆年間運営予算:101~300 万円 ◆予算の出所:自前の予算 ◆運営業務の担い手〔委託内容〕:一部外部委託〔システム保守は外部、コンテンツ追加は内部〕
技術	◆参考文献:ない ◆メタデータ作成者:— ◆準拠フォーマット:不明 ◆利用・提供用ファイル:PDF, JPEG, GIF, TIFF ◆保存用ファイル:— ◆記録媒体:HD, CD-ROM ◆長期保存のための取組:—
システム連携	◆外部インターフェイス:利用していない ◆連携システム:PORTA

愛知県公文書館

住所:460-0001 名古屋市中区三の丸 2-3-2 開設年:1986 年 設置母体:都道府県立

所蔵資料:蔵書 166,443 冊 職員総数(非常勤を含む):12 人

回答担当:愛知県総務部法務文書課文書・公文書館グループ

目的 〔達成状況〕	①資料の保存・管理〔原資料の保存に役立つ〕 ②新しい表現〔拡大・縮小が自由に出来,利便性が向上した〕 ③検索性の向上〔目的の資料を容易に検索し,利用出来るようになった〕
所蔵資料の 収録率	3%
運営予算	◆年間予算に占める割合:0% ◆外部委託費が占める割合:0% ◎課題・工夫点等:緊急雇用対策事業としてデジタル化とシステム構築を行ったが,インターネットでの公開や,新規のデジタル化は予算の確保が困難である。
人員	◆運営担当者:その他:一般職員が担当 ◆人材育成の取組:その他:特に行っていない ◎課題・工夫点等:デジタルアーカイブに関する知識は,必要ではあるが,専門職の配置は困難なので,職員が自分で専門的知識を習得していく必要がある。
権利処理	◆処理方法:その他:公文書等本館所蔵資料で,著作権・所有権の問題が発生しないものをデジタル化している ◆処理状況:その他:権利関係のある資料はデジタル化の対象としていない ◎課題・工夫点等:当面は,権利問題のない資料のデジタル化を進めていく。
他機関との 連携	◆連携状況:連携していない ◎課題・工夫点等:本館は公文書館なので,国立公文書館が提唱する「デジタル・アーカイブシステム標準仕様書」に注目している。
その他 F.A.	—

【愛知県公文書館・提供アーカイブ】

■名称なし(地籍図については「地籍図閲覧システム」) (1 件目/1 件中)

公開年:2002 年 URL:機関内一般公開 更新頻度:その他(未定)

概要	公文書類(地籍図・地籍帳,藩庁・県庁文書等) ◆コンテンツ総容量:不明 ◆コンテンツ総件数[内訳]:5,555 件〔地籍帳 2,424 冊,県庁文書等 923 冊,地籍図 2,208 枚〕 ◆コンテンツ増加量:0 件
利用者	◆ウェブアクセス数:web 未提供 ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料
構築	◆システム開発方法:パッケージ利用(スタンドアロンガビュー等) ◆構築予算:不明 ◆予算の出所:国の補助金 ◆予算獲得のきっかけ:平成 14~16 年度緊急雇用対策事業 ◆構築業務の担い手[委託内容]:ほとんど外部委託〔資料のデジタル化及び検索システム〕 ◆コンテンツ作成費:不明
運営	◆年間運営予算[理由]:0 円〔館内パソコンでの利用のみ〕 ◆運営業務の担い手:内部の人材
技術	◆参考文献:ない ◆メタデータ作成者:本館職員 ◆準拠フォーマット:不明 ◆利用・提供用ファイル:JPEG, TIFF ◆保存用ファイル:— ◆記録媒体:HD, CD-ROM, DVD ◆長期保存のための取組:—
システム間連携	◆外部インターフェイス:利用していない ◆連携システム:連携していない

大阪府公文書館

住所:558-0054 大阪市住吉区帝塚山東 2-1-44 開設年:1985 年 設置母体:都道府県立

所蔵資料:蔵書 140,000 冊 職員総数(非常勤を含む):10 人

回答担当:大阪府府民文化部府政情報室情報公開課公文書館グループ

目的 〔達成状況〕	①資料の保存・管理〔デジタル化によりいつまでも劣化しないデータを保存できる〕 ②新しい表現〔デジタルデータの一部をインターネットで配信している〕 ③—
所蔵資料の 収録率	24%
運営予算	◆年間予算に占める割合:0% ◆外部委託費が占める割合:0%
人員	◆運営担当者:知識の少ない職員 ◆職員のスキル等:スキル,経験はなし。デジタルアーカイブをインターネットで配信する登録作業 ◆人材育成の取組:その他:特になし
権利処理	◆処理方法:著作権フリー資料 ◆処理状況:その他:なし
他機関との 連携	◆連携状況:連携していない
その他 F.A.	—

【大阪府公文書館・提供アーカイブ】

■名称なし (1 件目/1 件中)

公開年:2004 年 URL:<http://www.doc.pref.osaka.jp/hx/index.jsp> 更新頻度:月 1 回程度

概要	大阪府が作成した公文書,公報,写真,映画フィルム,ビデオテープ ◆コンテンツ総容量:— ◆コンテンツ総件数:34,000 件 ◆コンテンツ増加量:40 件/年
利用者	◆ウェブアクセス数:不明 ◆館内等利用者数:74 人/月 ◆利用条件:無料 ◎課題・工夫点等:他部署のホームページと相互リンクさせている。
構築	◆システム開発方法:独自に開発 ◆構築予算:不明 ◆予算の出所:自前の予算,国の補助金 ◆予算獲得のきっかけ:平成 15,16 年度緊急雇用対策事業として ◆構築業務の担い手〔委託内容〕:ほとんど外部委託〔システム開発〕 ◆コンテンツ作成費:201 万円以上
運営	◆年間運営予算〔理由〕:0 円〔新規事業が認められないため〕 ◆運営業務の担い手:内部の人材
技術	◆参考文献:不明 ◆メタデータ作成者:非常勤職員 ◆準拠フォーマット:不明 ◆利用・提供用ファイル:PDF ◆保存用ファイル:PDF, JPEG ◆記録媒体:CD-ROM, DVD ◆長期保存のための取組:定期的に適切なメディアへのコンバート。
システム間連携	◆外部インターフェイス:利用していない ◆連携システム:連携していない

兵庫県公館県政資料館

住所: 650-8567 神戸市中央区下山手通 4-4-1 開設年: 1985 年 設置母体: 都道府県立

所蔵資料: 蔵書 85,716 冊/所蔵品 7,000 点 職員総数(非常勤を含む): 5 人

回答担当: 兵庫県企画県民部管理局文書課(歴史資料部門)

目的 〔達成状況〕	①検索性の向上〔件名目録と画像のデータベース構築により、資料の検索性が大きく向上した〕 ②資料の保存・管理〔画像を印刷できるため、コピーによる資料の劣化が減少した〕 ③調査研究用〔公報のデータベース化により検索性が向上し、業務利用のしやすさに貢献した〕
所蔵資料の 収録率	7.6%
運営予算	◆年間予算に占める割合: 不明 ◆外部委託費が占める割合: 0%
人員	◆運営担当者: その他: 担当者はいない ◆人材育成の取組: ー
権利処理	◆処理方法: 著作権フリー資料 ◆処理状況: その他: 権利処理の必要なし
他機関との 連携	◆連携状況: 連携していない
その他 F.A.	ー

【兵庫県公館県政資料館・提供アーカイブ】

■兵庫県公館県政資料館収蔵資料検索・閲覧システム (1 件目/1 件中)

公開年: 2005 年 URL: 機関内一般公開 更新頻度: その他(現在は更新していない)

概要	県公報(県布達及び県報を含む)については、明治 5 年から平成 13 年までの件名目録を作成するとともに、昭和 49 年までの画像をデジタル化してデータベースを作成。歴史的公文書については、明治元年から昭和 47 年までの件名目録とデジタル画像によるデータベースを作成 ◆コンテンツ総容量: 不明 ◆コンテンツ総件数[内訳]: 2,737,403 件〔・県公報等: 件名目録 212,922 件, 画像 135,433 点 ・歴史的公文書: 件名目録 83,762 件, 画像 2,305,286 点〕 ◆コンテンツ増加量: 0 件
利用者	◆ウェブアクセス数: ー ◆館内等利用者数: 2.4 人/月 ◆利用条件: 無料
構築	◆システム開発方法: 独自に開発 ◆構築予算: 2001 万円以上 ◆予算の出所: 国の補助金 ◆予算獲得のきっかけ: 平成 14・16 年度緊急雇用対策事業として ◆構築業務の担い手[委託内容]: ほとんど外部委託〔件名目録, 画像データ, システム開発〕 ◆コンテンツ作成費: 201 万円以上
運営	◆年間運営予算: 1~100 万円 ◆予算の出所: 自前の予算 ◆運営業務の担い手: 内部の人材
技術	◆参考文献: ない ◆メタデータ作成者: 委託業者 ◆準拠フォーマット: 不明 ◆利用・提供用ファイル: TIFF・G4, CSV ◆保存用ファイル: ー ◆記録媒体: HD, CD-ROM ◆長期保存のための取組: ー
システム連携	◆外部インターフェイス: 利用していない ◆連携システム: 連携していない

広島県立文書館

住所:730-0052 広島市中区千田町 3-7-47 開設年:1988 年 設置母体:都道府県立

所蔵資料:蔵書 185,530 冊 職員総数(非常勤を含む):13 人

目的 〔達成状況〕	①活動成果の普及 ②広報活動 ③—
所蔵資料の 収録率	(極めて少ない)
運営予算	◆年間予算に占める割合:0% ◆外部委託費が占める割合:0% ◎課題・工夫点等:職員が運営している
人員	◆運営担当者:知識の多い職員 ◆職員のスキル等:独学で学習 ◆人材育成の取組:独自の育成体系確立
権利処理	◆処理方法:自らの部署で処理,その他 ◆処理状況:把握していない
他機関との 連携	◆連携状況:連携していない
その他 F.A.	—

【広島県立文書館・提供アーカイブ】

■広島県立文書館だより, 広島県立文書館紀要, 展示図録 (収蔵文書展・企画展・特別展),
行事案内ポスター・チラシ, 利用案内等リーフレット, 広文協通信 (1 件目/1 件中)

公開年:2003 年 URL:<http://www.pref.hiroshima.lg.jp/soumu/bunsyo/monjokan/> 更新頻度:年数回程度

概要	広島県立文書館の業務の紹介。 ◆コンテンツ総容量:不明 ◆コンテンツ総件数[内訳]:68 件 [文書館だより 29 件, 展示図録 14 件, 事業年報 6 件, 紀要 4 件, 広文協通信 15 件] ※pdf ファイル 1 個を 1 件と数える ◆コンテンツ増加量:不明
利用者	◆ウェブアクセス数:不明 ◆館内等利用者数:— ◆利用条件:無料
構築	◆システム開発方法:不明 ◆構築予算[理由]:0 円 [職員で作成] ◆構築業務の担い手:内部の人材 ◆コンテンツ作成費:不明
運営	◆年間運営予算[理由]:0 円 [職員運営] ◆運営業務の担い手:内部の人材
技術	◆参考文献:— ◆メタデータ作成者:職員 ◆準拠フォーマット:不明(ない): ◆利用・提供用ファイル:PDF ◆保存用ファイル:— ◆記録媒体:— ◆長期保存のための取組:—
システム連携	◆外部インターフェイス:— ◆連携システム:連携していない

山口県文書館	
住所:753-0083 山口市後河原 150-1 開設年:1959 年 設置母体:都道府県立 所蔵資料:蔵書 38,000 冊/所蔵品 43,700 点 職員総数(非常勤を含む):8 人	
目的 〔達成状況〕	①検索性の向上 ②広報活動 ③活動成果の普及
所蔵資料の 収録率	不明
運営予算	◆年間予算に占める割合:1.6% ◆外部委託費が占める割合:100%
人員	◆運営担当者:知識の多い職員 ◆職員のスキル等:デジタルアーカイブ構築のスキルはないが,全体を管理する立場として,運用・更新等を業者に発注している ◆人材育成の取組:セミナー等に派遣
権利処理	◆処理方法:著作権フリー資料,権利者との信頼関係 ◆処理状況[年間処理件数/費用]:把握している [0 件/0 円]
他機関との 連携	◆連携状況:連携していない
その他 F.A.	利用者にとって,操作しやすい画面の工夫。

【山口県文書館・提供アーカイブ】

■山口県文書館ホームページ (1 件目/1 件中)	
公開年:2003 年 URL:http://ymonjo.ysn21.jp/ 更新頻度:週 1 回程度	
概要	所蔵資料の検索システム。画像データベース ◆コンテンツ総容量:3GB ◆コンテンツ総件数:1,300 件 ◆コンテンツ増加量:不明
利用者	◆ウェブアクセス数[増減傾向]:2,700 件/月 [年ごとに増加傾向にある] ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料 ◎課題・工夫点等:利用者が使い易いよう,視覚的に解り易いデザインにしている。
構築	◆システム開発方法:独自に開発 ◆構築予算:301~500 万円 ◆予算の出所:国の補助金 ◆予算獲得のきっかけ:H14 年度,15 年度緊急雇用対策事業として ◆構築業務の担い手[委託内容]:ほとんど外部委託 ◆コンテンツ作成費:不明
運営	◆年間運営予算:1~100 万円 ◆予算の出所:自前の予算 ◆運営業務の担い手[委託内容]:一部外部委託 [サーバー保守点検]
技術	◆参考文献:ない ◆メタデータ作成者:当館職員 ◆準拠フォーマット:独自の基準 ◆利用・提供用ファイル:JPEG ◆保存用ファイル:— ◆記録媒体:HD, CD-ROM ◆長期保存のための取組:媒体の変換等が今後必要になると思われる
システム間連携	◆外部インターフェイス:利用していない ◆連携システム:連携していない

沖縄県公文書館	
住所:901-1105 南風原町字新川 148-3 開設年:1995 年 設置母体:都道府県立	
所蔵資料:— 職員総数(非常勤を含む):34 人	
回答担当:資料課((財)沖縄県文化振興会)	
目的 〔達成状況〕	①検索性の向上〔特に検証していない〕 ②新しい表現〔特に検証していない〕 ③活動成果の普及〔特に検証していない〕
所蔵資料の 収録率	不明
運営予算	◆年間予算に占める割合:不明 ◆外部委託費が占める割合:不明
人員	◆運営担当者:知識の多い職員,知識の少ない職員 ◆職員のスキル等:前職がシステムエンジニア,公文書専門員(ブログを更新する程度) ◆人材育成の取組:セミナー等に派遣 ◎課題・工夫点等:ひとつのコンテンツに複数の職員が関わっている現状である。
権利処理	◆処理方法:自らの部署で処理,著作権フリー資料,権利者との信頼関係(承諾書) ◆処理状況:その他:費用発生なし。過去に一度 US\$ 50 のみ ◎課題・工夫点等:オンデマンド講演会については事前に HP 掲載等について講師から承諾書を得ている。講演会中の資料の著作権処理は登載前に処理する。
他機関との 連携	◆連携状況:連携していない
その他 F.A.	—

【沖縄県公文書館・提供アーカイブ】

■写真が語る沖縄 (1 件目/6 件中)	
公開年:一年 URL: http://www.archives.pref.okinawa.jp/toppage/flm_archas_syasin.html 更新頻度:年数回程度	
概要	戦中・戦後・琉球政府時代の写真 ◆コンテンツ総容量:2GB ◆コンテンツ総件数:61,340 件※写真 1 枚を 1 件と数える ◆コンテンツ増加量:640 件/年
利用者	◆ウェブアクセス数:不明 ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料 ◎課題・工夫点等:ホームページの見やすいところに配置する。
構築	◆システム開発方法:パッケージ利用:NAMAZU (フリー) ◆構築予算[理由]:0 円〔既存環境があった〕 ◆構築業務の担い手:内部の人材 ◆コンテンツ作成費:201 万円以上
運営	◆年間運営予算:1~100 万円 ◆予算の出所:その他:自治体からの指定管理費 ◆運営業務の担い手:内部の人材
技術	◆参考文献:ない ◆メタデータ作成者:公文書専門員 ◆準拠フォーマット:独自の基準 ◆利用・提供用ファイル:JPEG ◆保存用ファイル:TIFF ◆記録媒体:HD, CD-ROM ◆長期保存のための取組:データフォーマットや記憶媒体を汎用的なものにできるだけ統一する
システム連携	◆外部インターフェイス:利用していない ◆連携システム:連携していない
■映像が語る沖縄 (2 件目/6 件中)	
公開年:2006 年 URL: http://www.archives.pref.okinawa.jp/films/ 更新頻度:その他(不定期)	
概要	動画をサンプル配信(約 5 分) ◆コンテンツ総容量:不明 ◆コンテンツ総件数:228 件 ◆コンテンツ増加量:不明
利用者	◆ウェブアクセス数:713 件/月 ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料 ◎課題・工夫点等:ホームページの見やすいところに配置する。
構築	◆システム開発方法:パッケージ利用:Movable Type 4.2 ◆構築予算:1~100 万円 ◆予算の出所:その他:自治体からの指定管理費 ◆予算獲得のきっかけ:利用普及事業として ◆構築業務の担い手[委託内容]:ほとんど外部委託〔ブログ記事作成〕 ◆コンテンツ作成費:11~50 万円
運営	◆年間運営予算:1~100 万円 ◆予算の出所:その他:自治体からの指定管理費 ◆運営業務の担い手:ほとんど外部委託
技術	◆参考文献:ない ◆メタデータ作成者:公文書専門員 ◆準拠フォーマット:独自の基準 ◆利用・提供用ファイル:WVX ◆保存用ファイル:DVD-Video ◆記録媒体:DVD ◆長期保存のための取組:広く普及し,長期利用できるフォーマットを選択
システム連携	◆外部インターフェイス:不明 ◆連携システム:連携していない

■沖縄県公報 (3 件目/6 件中) 公開年: 2007 年 URL: http://www.archives.pref.okinawa.jp/toppage/flm_archas_kkouhou.html 更新頻度: 年 1 回程度	
概要	沖縄県が発行した公報の検索・閲覧サービス ◆コンテンツ総容量:1.5GB ◆コンテンツ総件数:3,565 件※1 号を 1 件と数える ◆コンテンツ増加量:—
利用者	◆ウェブアクセス数:不明 ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料 ◎課題・工夫点等:容量が大きいファイルは分割している
構築	◆システム開発方法:パッケージ利用:NAMAZU (フリー) ◆構築予算(理由):0 円 ◆構築業務の担い手:内部の人材 ◆コンテンツ作成費(理由):0 円 [マイクロフィルムスキャナーでデジタル化]
運営	◆年間運営予算(理由):0 円 [完了したから] ◆運営業務の担い手:—
技術	◆参考文献:ない ◆メタデータ作成者:公文書専門員 ◆準拠フォーマット:独自の基準 ◆利用・提供用ファイル:PDF ◆保存用ファイル:— ◆記録媒体:HD, CD-ROM ◆長期保存のための取組:データフォーマットや記憶媒体は汎用的なものでできるだけ統一する
システム連携	◆外部インターフェイス:利用していない ◆連携システム:連携していない
■琉球政府公報 (4 件目/6 件中) 公開年: 2001 年 URL: http://www.archives.pref.okinawa.jp/toppage/flm_archas_rkouhou.html 更新頻度: その他(完結)	
概要	琉球政府が発行した公報の検索・閲覧サービス ◆コンテンツ総容量:6GB ◆コンテンツ総件数:4,105 件※1 号を 1 件と数える ◆コンテンツ増加量:—
利用者	◆ウェブアクセス数:不明 ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料 ◎課題・工夫点等:容量の大きいファイルは分割している。
構築	◆システム開発方法:パッケージ利用:NAMAZU (フリー) ◆構築予算(理由):0 円 [既存環境があった] ◆構築業務の担い手:内部の人材 ◆コンテンツ作成費(理由):0 円 [コピー機でデジタル化]
運営	◆年間運営予算(理由):0 円 [コピー機でデジタル化] ◆運営業務の担い手:内部の人材
技術	◆参考文献:ない ◆メタデータ作成者:公文書専門員 ◆準拠フォーマット:独自の基準 ◆利用・提供用ファイル:PDF ◆保存用ファイル:— ◆記録媒体:HD, CD-ROM ◆長期保存のための取組:データフォーマットや記憶媒体を汎用的なものでできるだけ統一する
システム連携	◆外部インターフェイス:利用していない ◆連携システム:連携していない
■刊行物 (5 件目/6 件中) 公開年: 1998 年 URL: http://www.archives.pref.okinawa.jp/publication/06/ 更新頻度: 年 1 回程度	
概要	当館発行の刊行物の閲覧・ダウンロードサービス ◆コンテンツ総容量:30MB ◆コンテンツ総件数:60 件※刊行物 1 冊を 1 件と数える ◆コンテンツ増加量:—
利用者	◆ウェブアクセス数:62 件/月 ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料 ◎課題・工夫点等:容量の大きいファイルは分割している。
構築	◆システム開発方法:パッケージ利用:Movable Type 4.2 ◆構築予算:1~100 万円 ◆予算の出所:その他:自治体からの指定管理費 ◆予算獲得のきっかけ:利用普及事業として ◆構築業務の担い手[委託内容]:一部外部委託 [仕組みの構築] ◆コンテンツ作成費:1~10 万円
運営	◆年間運営予算:1~100 万円 ◆予算の出所:その他:自治体からの指定管理費 ◆運営業務の担い手[委託内容]:一部外部委託 [PDF 作成]
技術	◆参考文献:日経 BP 社『Web アクセシビリティ JIS 規格ガイド改訂版』(2008 年) ◆メタデータ作成者:公文書専門員 ◆準拠フォーマット:独自の基準 ◆利用・提供用ファイル:PDF, HTML ◆保存用ファイル:— ◆記録媒体:その他, 紙 ◆長期保存のための取組:広く普及し, 長期利用できるフォーマットを選択
システム連携	◆外部インターフェイス:不明 ◆連携システム:連携していない
■オンデマンド講演・講座 (6 件目/6 件中) 公開年: 2007 年 URL: http://www.archives.pref.okinawa.jp/publication/02/ 更新頻度: 年数回程度	
概要	当館行事で開催した講演会・講座を映像に収録し講師の許諾を得たものについて配信するサービス ◆コンテンツ総容量:900MB ◆コンテンツ総件数[内訳]:7 件 [講演会・講座計 7 本] ◆コンテンツ増加量:2 件/年
利用者	◆ウェブアクセス数:15 件/月 ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料 ◎課題・工夫点等:コンテンツが探しやすくするため, トップページにバナーを配置
構築	◆システム開発方法:パッケージ利用:Movable Type 4.2 ◆構築予算:1~100 万円 ◆予算の出所:その他:自治体からの指定管理費 ◆予算獲得のきっかけ:利用普及事業として ◆構築業務の担い手[委託内容]:一部外部委託 [仕組みの構築] ◆コンテンツ作成費(理由):0 円 [PDF を内部職員で作成]
運営	◆年間運営予算:1~100 万円 ◆予算の出所:その他:自治体からの指定管理費 ◆運営業務の担い手[委託内容]:一部外部委託 [講演会等の映像収録と Web 用 DVD 作成]
技術	◆参考文献:日経 BP 社『Web アクセシビリティ JIS 規格ガイド改訂版』(2008 年) ◆メタデータ作成者:公文書専門員 ◆準拠フォーマット:独自の基準 ◆利用・提供用ファイル:PDF, WVX ◆保存用ファイル:DVD-Video ◆記録媒体:DVD ◆長期保存のための取組:広く普及し長期利用できるフォーマットを選択
システム連携	◆外部インターフェイス:不明 ◆連携システム:連携していない

尼崎市立地域研究史料館

住所:660-0881 尼崎市昭和通 2-7-16 開設年:1975 年 設置母体:市町村区立

所蔵資料:蔵書 110,000 冊/所蔵品 200,000 点 職員総数(非常勤を含む):9 人

目的 〔達成状況〕	①新しい表現〔刊行物版『尼崎地域史事典』の内容を DB 化して公開し、大いに利用されている〕 ②検索性の向上〔アップした写真画像を Web 上において簡便に検索・利用することが可能となった〕 ③活動成果の普及〔他にないユニークな Web 版地域史データベースとして各方面から評価されている〕
所蔵資料の 収録率	0.01%
運営予算	◆年間予算に占める割合:1% ◆外部委託費が占める割合:0% ◎課題・工夫点等:財政難であり別途予算の獲得はむずかしいため、システムはスタッフが独自開発し、デジタル化作業(スキャンニング等)はスタッフが日常業務のなかで行なうか、あるいは市民ボランティアの協力を得て進めている。
人員	◆運営担当者:知識の多い職員 ◆職員のスキル等:データベース構築等を独学で学んだスタッフが、システムを独自開発し公開・運営している ◆人材育成の取組:その他:育成システムを明確化できていない ◎課題・工夫点等:非常勤嘱託職員の自己努力に依存しており、継続的に人材を育成配置できる組織体制をとることが困難である。
権利処理	◆処理方法:自らの部署で処理 ◆処理状況[年間処理件数/費用]:把握している [1 件/0 円] ◎課題・工夫点等:公開画像の大部分は市が著作権を持つものなど権利問題の発生しない画像である。
他機関との 連携	◆連携状況:連携していない
その他 F.A.	本市財政状況や社会情勢等に鑑み、新たな財政負担をとまなわれない形のデジタルアーカイブ構築運営を自己努力により行なうことを基本としている。その一方で、限られたマンパワーを浪費することにより館の他の事業を圧迫することのないよう、市民ボランティアの協力なども得つつ効率的な構築運営をめざしている。

【尼崎市立地域研究史料館・提供アーカイブ】

■Web 版尼崎地域史事典 “apedia” (1 件目/1 件中)

公開年:2007 年 URL:<http://www.archives.city.amagasaki.hyogo.jp/apedia/> 更新頻度:月 1 回程度

概要	1996 年刊行の『尼崎地域史事典』の Web 版として構築公開。テキスト中心の地域史データベースに、関連する写真画像等のデジタル・コンテンツを付加 ◆コンテンツ総容量:14MB ◆コンテンツ総件数:2,012 件 ※Web 版『尼崎地域史事典』掲載各項目を 1 件と数える ◆コンテンツ増加量:項目数は約 3 件、デジタル画像増加数は約 10 件/年
利用者	◆ウェブアクセス数:60,000 件/月 ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料 ◎課題・工夫点等:各ページの META タグは検索エンジンにヒットしやすいように keyword を生成している。
構築	◆システム開発方法:独自に開発 ◆構築予算:1~100 万円 ◆予算の出所:自前の予算 ◆予算獲得のきっかけ:経常経費の枠内で実施 ◆構築業務の担い手:内部の人材 ◆コンテンツ作成費[理由]:0 円 [日常業務の範囲内で作成・構築]
運営	◆年間運営予算:1~100 万円 ◆予算の出所:自前の予算 ◆運営業務の担い手:内部の人材
技術	◆参考文献:ない ◆メタデータ作成者:おもに職員 ◆準拠フォーマット:独自の基準 ◆利用・提供用ファイル:JPEG ◆保存用ファイル:TIFF ◆記録媒体:HD ◆長期保存のための取組:—
システム連携	◆外部インターフェイス:利用していない ◆連携システム:連携していない